(社)関西電気管理技術者協会　御中
技術委員長　沖田　正治　様

平成２３年１１月２１日

絶縁監視装置「ＭＰＣ－１」「監視王シリーズ」の Io・Ior 動作試験方法

日頃は弊社、絶縁監視装置「監視王シリーズ」のご採用いただき誠に有難うございます。
本件は、弊社製の監視装置動作値試験が対象となっておりますのでご了承下さい。
また、基本的に活線での試験となります。今回は詳しい操作方法を省略し、概略のみの説明とさせて頂きます。弊社製の監視装置動作値試験の方法の詳しいご説明は改めてご案内をさせていただきます。

記

◆ 【基本準備】

単相１００ｖと２００ｖ電源が入力できる当社製ＥＬＢ－ＧＲリレーテスタ「ＬＢ－５」「ＬＢ－６」をご準備下さい。
監視装置の電流検出センサーは、通常に設置されておられます被試験物から必ずはずして、単独で試験してください。

◆ 【試験方法】

１）Ｉｏタイプ（ＭＰＣ－１・監視王Ⅰ・監視王Ⅱ・監視王Ⅴ）

ＥＬＢ－ＧＲリレーテスタ「ＬＢ－５」「ＬＢ－６」の電流出力ケーブルを監視装置の電流センサーに貫通させてループ回路を作り、ＥＬＢ－ＧＲリレーテスタ「ＬＢ－５」「ＬＢ－６」の電流出力を電流計にて確認しながら監視装置の漏電電流を試験を行ないます。

２）監視王Ⅲ　Ｉｏｒタイプ（監視王Ⅲ）

① Ｉｏ試験については、Ｉｏタイプと同様の試験をします。
② 単相Ｉｏｒの場合は、漏電監視をしている電源と同じ電路にＥＬＢ－ＧＲリレーテスタ「ＬＢ－５」「ＬＢ－６」の電源をつないで、操作はＩｏタイプと同様の方法で試験を行ないます。
※ＥＬＢ－ＧＲリレーテスタ「ＬＢ－５」「ＬＢ－６」の入力電源は、各バンクを監視している監視王Ⅲと同じ電路の電源から必ず取る必要があります。
③ 三相Ｉｏｒの試験についてもＥＬＢ－ＧＲリレーテスタ「ＬＢ－５」「ＬＢ－６」を用いて試験が可能です。
ＥＬＢ－ＧＲリレーテスタ「ＬＢ－５」「ＬＢ－６」の試験レンジを活線（ＬＩＶＥ）レンジにあわせて、単相Ｉｏｒと同様に漏電監視をしている三相電源と同じ電路から電源を取ります。
この時ＥＬＢ－ＧＲリレーテスタ「ＬＢ－５」「ＬＢ－６」の電源は単相２００ｖに切り替えて、各バンクの三相回路の「Ｒ－Ｓ相」若しくは「Ｓ－Ｔ相」）から取ります。

※この場合の電流出力配線方法はＥＬＢ－ＧＲリレーテスタ「ＬＢ－５」「ＬＢ－６」の取扱説明書に準じてください。

④ 三相Ｉｏｒの試験においては、三相電源出力装置を準備して、電圧位相と同相の電流を出力させて試験も出来ますが、三相電源出力装置を購入するには高額な費用が掛かります。

◆ 【試験結果の確認】

基本電流はＥＬＢ－ＧＲリレーテスタ「ＬＢ－５」「ＬＢ－６」の出力電流計（２．５級）にて動作電流値の確認してください。

検出電流は、監視装置から送信されるメールを携帯メールやパソコンメールで確認できる他、「監視王シリーズ」については、本体から直接ケーブルをパソコンに接続して直接確認する事も可能です。

以上、ご回答に大変お時間を要しました事深謝申し上げます。
ご高察の程宜しくお願い申し上げます。

㈱ムサシインテック
営　業　本　部
西野　浩二
大　阪　営　業　所
草薙　弘尚